

全国センターだより

2022 AUTUMN vol. **104**



- 巻頭言 …… 雑感
- 特別寄稿 …… 第93回 民事介入暴力対策 高知大会のご案内
- 寄稿 …… 生まれ変わった暴力団組事務所

センターだより

東 西 南 北

仙台市内運行のバスを利用した 広報活動

(公財)宮城県暴力団追放推進センター

令和4年度の事業活動の重点に「暴力団排除機運を一層高めるための積極的な広報啓発活動の推進」と謳っています。特に、当センターの事業内容を広く県民に周知することを一つの柱としています。

一昨年からのコロナ禍により、各種の会合や研修会等の行事が中止となっておりますが、こうした中でも、不当要求責任者講習は一会場で100人を超える場合もあるなど、コロナ禍前と遜色ない受講者数であるほか、相談件数も1,300件を超えるなど、これまで行ってきた「ホームページの充実」や「各種のパンフレット等の広報資料の作成配布」、「各種メディアの活用」等の活動が、一定の効果を発揮しているものと感じているところです。

県民各層の暴力団排除意識の高揚を図るためには、県民に対して当センターの存在を継続して見聞きしてもらうことが大切と考えていますが、それを具現化するための最大行事である「暴力追放宮城県民大会」が、2年続けて中止せざるを得ない状態となっています。そこで、これまで継続してきた仙台市内を運行するバス車内における広報を見直し、「伊達武将隊」による暴排ステッカーの掲示については、これまでの125台から220台と倍増させたほか、3バス停において一日合計1,588回放送していた車内放送は、4バス停、一日合計2,308回に増やして広報を行っております。

当センターの所在は、宮城県庁と仙台市役所に近接する市内中心部で、朝夕の通勤時間帯は満員の状態で、「暴力団等にお困りの方は・・・宮城県暴力団追放推進セ



伊達武将隊ステッカー

ンターまで」と乗客に呼びかけを行うとともに、運行バスの乗車口等では伊達武将隊のステッカーが「暴力団等反社会的勢力等の相談はこちらまで」と視覚による広報を行っています。

過日、暴力団等の相談ではありませんでしたが、毎日、見聞きしているという相談者があり、弁護士につながった案件があり、更なる効果を期待しているところです。

オンライン講習開始準備と 離脱者支援の充実に向けて

(公財)群馬県暴力追放運動推進センター

○オンライン講習の準備について

コロナ第7波の兆しが見え始め、ウィズ・コロナの生活様式定着と共に、各センターと同じく、当センターも業務の見直しや改革を迫られ、その一つとして、遅くなてしまいましたが、オンライン講習を本年秋から本格運用できる様に準備・試験を進めています。まずはオンライン会議ソフトの選定・契約を済ませ、現在は、受講対象者の申込から受講修了までを管理するソフトをシステム開発業者に発注して納入待ちの状態です。

その間にも、オンライン会議ソフトの習熟と問題点把握のため、センターでは、警察本部員の協力を得て、少数でのオンライン接続試験や講師への映像切替試験などを繰り返しているところであり、サイバー捜査官の指導を受けながら、更に試験を重ね、問題点の解決と練度を上げて行かなければならないと考えています。

○離脱者支援の充実について

本県では、暴力団離脱者社会復帰対策協議会の受入登録企業が22社(群馬県への入札資格所有7社)でしたが、更なる受入企業の拡充を図るため、警察から群馬県に働き掛けを行ったところ、群馬県が発注する建設工事競争入札参加資格審査項目「自立更生支援活動」の対象に、
①暴力団離脱者社会復帰対策協議会への受入企業登録
②受入企業として3ヶ月以上の暴力団離脱者の雇用の2項目が追加され、それぞれの項目で加点されることと、令和4・5年度の入札資格の申請受付が本年1月中であることなどが、群馬県から公表されました。

これにより受入登録企業は、群馬県が発注する建設工事の請負を希望する企業の競争入札参加資格の格付けが上がるため、当センターや警察本部に建設工事関係企業からの問合せが複数ありました。その結果、審査・登録した受入登録企業が4社増加して計26社(入札資格所有11社)となり、これからも充実して行くことが見込まれます。

紹介しましたこれら2例の他、今後も適宜、各種業務の見直しや改革を行い、合理化と充実を進めて行く所存です。

静岡県暴力追放運動 推進センターの活動状況

(公財)静岡県暴力追放運動推進センター

令和3年度は、新型コロナウイルスの感染拡大により、11月に開催予定であった暴力追放県民大会等の行事が中止、不当要求防止責任者講習も延期や中止が相次ぐなど、暴力団排除普及活動に大きく影響を及ぼしました。

そのような中、暴力団排除活動を普及させるべく、当センターでは反社対策マニュアル、暴力団排除啓発品アクリルスタンド、暴力団排除啓発ポスター、暴力団排除リーフレットを作成し、市・町等で組織された地域暴力追放推進協議会26団体及び業界・企業等で組織された職域暴力追放推進協議会41団体等の事業者のほか、情報連絡会、講演会等で配布しました。

また、元静岡県警察官で現在、格闘家として活躍中の関根シュレック秀樹氏を起用した当センター独自の暴力団排除啓発ポスターの制作・配布、県東部、中部、西部の各地において路線バス各2台に暴力団排除の車体広告を活用するなど広報啓発活動に力を入れてきました。

そして、今回、当センターのマスコットキャラクターとして静岡県のシンボルである富士山をモチーフに考案された暴追マンが掲載されたステッカーを制作、まだ認知度が低く、浸透していませんが、これからも講習や各種イベント行事において皆さんに周知してもらえよう広めて行きたいと思っています。

今年に入り、新型コロナ感染者数も一旦は減少しましたが、変異株の拡大により感染者数も増加傾向になり、余談を許さない状況が



続いています。

当センターの不当要求防止責任者講習も定員を半数程度に制限してはいますが開催回数も徐々に増え、今年の11月には2年連続開催中止となっていた暴力追放県民大会も規模を縮小、暴力団排除功労者表彰がメインとなりますが開催予定です。

早く新型コロナウイルスが収束を迎え、当センターを含め各都道府県の暴追センターが以前のような暴力団排除普及活動ができるよう願っております。

啓発DVDの制作

(公財)大阪府暴力追放推進センター

ある日、当センター事業課長から「不当要求防止責任者講習のときに視聴する新しい大阪独自のDVDがあればいいの」との要望がありました。当センターでは昨年度からオンラインによる講習を実施していましたが、受講者の顔が見えず、講習の内容をどのように受け止めているかが分からないこともあり、印象深い講習にしたいと常々考えていたので、DVD制作のチャンスだと捉えました。

そこで、講習で使用するDVDで、受講者が講習を終えて「あのDVDはよかった」と印象が残る内容のDVDを制作しようということになりました。更に折角制作するのなら、一般企業の従業員だけではなく、行政機関の職員にも対応できるよう、「企業対象暴力編」と「行政対象暴力編」を制作することにしました。

脚本は、当センターの職員がその経験則等を活かし、反社会的勢力が敢行する不当要求の常套手段に対して、いかに対応していくかを、悪い対応例と良い対応例が比較視聴できるよう工夫を凝らして制作しました。

そして、制作は、数社による競走入札で決定したY社と共に、役者のオーディション、撮影現場、背景の編集、テロップの内容や差し込むタイミングのほか、役者の台詞の強弱や動作に至るまで、全ての過程に当センター職員が立ち会って作り上げていきました。

結果、一編が約30分間にまとめられたことで、講習に使いやすく、また、講習受講者に対して「不当要求には負けては



しくない」という当センター職員の思いが詰まったものになったと自負しております。

当センターでは、このDVDを活用して、不当要求防止責任者講習に限らず、各協議会や研修会へも積極的に参加し、今後も不当要求対策の啓発活動を継続していきたいと考えています。

プロスポーツ団体等の ポスター等による広報啓発活動

(公財)暴力追放広島県民会議

当県民会議では、広島県内を拠点とするプロスポーツ団体等と連携して、選手をモデルとしたポスターやスポーツ団体のキャラクターやロゴを使用したグッズを作成し、暴追団体等に配布するなどして広報啓発活動を行っています。

広島県は大変スポーツ活動が盛んであり、様々な種類のスポーツ団体があります。

当県民会議が今まで連携してきたスポーツ団体は、広島東洋カープ（野球）、サンフレッチェ広島（サッカー）、広島ドラゴンフライズ（バスケットボール）、JTサンダース（バレーボール）、広島ガスバドミントン部、中国電カレドレグリオンズ（ラグビー）等があります。

特に広島東洋カープは全国にも熱狂的なファンがあり、平成28年からリーグ三連覇した際にはとても盛り上がりました。カープ球団は平成16年3月に当県民会議や広島県警察と連携して、「広島東洋カープ・広島市民球場暴力団排除連絡協議会」を設立し、現在も暴力団等の排除対策を推進しているところです。平成28年度からは毎年度、カープ球団協力の下、カープの選手をモデルとしたサイン付の暴排ポスターを作成しています。

こうしたポスターは、講習会や各研修会で配布して広報していますが、広島県内ではカープ熱がかなり高いことからカープ選手のポスターは非常に好評で、3,000枚以上作成しても追加作成をするほどの人気があり、当県民会議の暴力団排除活動を広く紹介してくれている状況にあります。



今年度については、成長著しい坂倉将吾（さかくらしょうご）捕手をモデルに起用して作成しました。暴排活動をできるだけ多くの人に広報できるように、坂倉選手の活躍とカープの優勝を願うばかりです。

こうした県内で活躍しているプロスポーツ団体等と連携して広報啓発活動を行うことは非常に効果的であるため、これからも継続していく所存であります。

縁切り同盟「長崎解縁隊」

(公財)長崎県暴力追放運動推進センター

令和4年9月23日、いよいよ長崎県にも新幹線の乗り入れが始まります。開業後は新型コロナウイルス禍での経済対策も相まって、多くの観光客の来県が期待され、経済的にも大きな期待が寄せられています。しかし暴追センターとしては、人の出入りが激しくなり、経済が活性化するとともに暴力団の資金源活動も活発化するのではないかと懸念を抱かざるを得ず、今後更に暴力団排除の気運を高めていく必要があると考えています。そのためには、県民の皆さんの力が不可欠となる訳ですが、長崎駅前地区においては、新幹線工事がまった中の令和2年1月15日、県下で3地区目となる縁切り同盟「長崎解縁隊長崎」が結成されました。縁切り同盟については、皆様ご存知のとおり、平成19年に高知県に始まり、その流れが全国に広がっています。長崎県においても、平成28年11月、島原警察署管内において県下第1号として縁切り同盟「長崎解縁隊島原」が結成されました。その後、平成30年11月、浦上警察署管内で縁切り同盟「長崎解縁隊浦上」が結成され、長崎駅前地区が県下3地区目となります。

この長崎駅前地区は、新長崎駅が開業するとともに、大型会議場やホテルを併設したMICE施設等が建設されており、長崎県の陸の玄関口として大きく発展することが期待されています。

このような地区において先制的に暴力団排除組織が結成されたことは大変心強いものであり、今後の更なる活動に期待するとともに、センターとしても、弁護士会や県警とともに支援、協力を続けていきたいと考えています。

最後になりますが、「解縁隊」の名称についてですが、先に述べたように、縁切り同盟は高知県において始められましたが、高知県と長崎県のつながりの代表的な人物と言えば坂本龍馬であり、坂本龍馬が初めて長崎の地を踏んだのが、本県で最初に結成された島原になります。そこで坂本龍馬ゆかりの「海援隊」にちなんで「解縁隊」と名付けられています。



全国暴追センター・シンボルマーク
『パンチくん』

都道府県暴力追放運動推進センター相談電話

(公財)北海道暴力追放センター 011-271-5982	(公財)長野県暴力追放県民センター 026-235-2140	(公財)岡山県暴力追放運動推進センター 086-233-2140
(公財)青森県暴力追放県民センター 017-723-8930	(公財)静岡県暴力追放運動推進センター 054-283-8930	(公財)暴力追放広島県民会議 082-228-5050
(公財)岩手県暴力追放推進センター 019-624-8930	(公財)富山県暴力追放運動推進センター 076-421-8930	(公財)山口県暴力追放運動推進センター 083-923-8930
(公財)宮城県暴力追放推進センター 022-215-5050	(公財)石川県暴力追放運動推進センター 076-247-8930	(公財)徳島県暴力追放県民センター 088-656-0110
(公財)暴力団壊滅秋田県民会議 018-824-8989	(公財)福井県暴力追放センター 0776-28-1700	(公財)香川県暴力追放運動推進センター 087-837-8889
(公財)山形県暴力追放運動推進センター 023-633-8930	(公財)岐阜県暴力追放推進センター 058-277-1613	(公財)愛媛県暴力追放推進センター 089-932-8930
(公財)福島県暴力追放運動推進センター 024-572-6960	(公財)暴力追放愛知県民会議 052-883-3110	(公財)暴力追放高知県民センター 088-871-0002
(公財)茨城県暴力追放推進センター 029-228-0893	(公財)暴力追放三重県民センター 059-229-2140	(公財)福岡県暴力追放運動推進センター 092-651-8938
(公財)栃木県暴力追放県民センター 028-627-2600	(公財)滋賀県暴力追放推進センター 077-525-8930	(公財)佐賀県暴力追放運動推進センター 0952-23-9110
(公財)群馬県暴力追放運動推進センター 027-254-1100	(公財)京都府暴力追放運動推進センター 075-451-8930	(公財)長崎県暴力追放運動推進センター 095-825-0893
(公財)埼玉県暴力追放・薬物乱用防止センター 048-834-2140	(公財)大阪府暴力追放推進センター 06-6946-8930	(公財)熊本県暴力追放運動推進センター 096-382-0333
(公財)千葉県暴力追放県民会議 043-254-8930	(公財)暴力追放放兵庫県民センター 078-362-8930	(公財)大分県暴力追放運動推進センター 097-538-4704
(公財)暴力追放運動推進都民センター 03-3291-8930	(公財)奈良県暴力追放県民センター 0742-24-8374	(公財)宮崎県暴力追放センター 0985-31-0893
(公財)神奈川県暴力追放推進センター 045-201-8930	(公財)和歌山県暴力追放県民センター 073-422-8930	(公財)鹿児島県暴力追放運動推進センター 099-224-8601
(公財)新潟県暴力追放運動推進センター 025-281-8930	(公財)鳥取県暴力追放センター 0857-21-6413	(公財)暴力追放沖縄県民会議 098-858-8930
(公財)山梨県暴力追放運動推進センター 055-227-5420	(公財)島根県暴力追放県民センター 0852-21-8938	



全国暴力追放運動推進センター

公益財団法人 **全国防犯協会連合会**

〒113-0033 東京都文京区本郷 3-38-1 本郷信徳ビル 6 階
TEL (03) 3868-0247 FAX (03) 3868-0257